



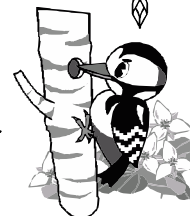
議会だより

たよる

7

NO.

2008.1.1 発行



カーリングに初挑戦の
風連中学校3年生
(12月10日)



未来のジャンパーを夢見て
第38回名寄ピヤシリジャンプ大会(12月15日)



「上手につけたかなあー」
大谷幼稚園の餅つき(12月18日)

第4回定例会

主	定例会で決まったこと・議員協議会	2
な	各会計決算特別委員会・新年のご挨拶	3
内	一般質問に14人	4～10
容	各委員会の報告・用語解説	11～13
	へこたれない・議会日誌・編集後記	14

緊急灯油支援を決定

204万8,000円を追加

平成19年第4回定例会が、11月30日から12月14日まで15日間開かれました。
議案などの審議では、委員会に付託された議案7件のうち一部修正を含め4件を可決、3件を認定すべきものと決し、今定例会に提出された議案20件中2件を委員会に付託とし、残り18件と意見書案16件を原案のとおり可決しました。
一般質問は、12日から14日の3日間行なわれ、14人の議員が市政に関する諸課題について質問しました。

主な条例 ◆◆◆◆◆◆◆◆

公益法人等への名寄市職員の派遣等に関する条例の制定

公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の規定に基づき派遣する団体、職員の派遣、復職時の処遇等について定めるため条例を制定するもので、この条例の審査を総務文教常任委員会に付託しました。名寄市水道事業給水条例・下水道条例・個別排水処理施設条例の一部改正

現行の水道料金・下水道使用料は、名寄・風連地区いずれも合併前の料金体系で算定されており、その料金の格差を統一するもので、水道料金については口径別の体系とし、基本水量を5tとするなど、本年4月から実施することで原案のとおり可決しました。

主な補正 ◆◆◆◆◆◆◆◆

緊急灯油支援事業費

灯油価格の高騰が続いていることから、生活保護世帯を除く、名寄市社会福祉協議会が実施する歳末助け合い運動配分委員会で決定する低所得者などの世帯に対し100ℓ分を、障がい者が暮らす共同住宅などの入居者に対し35ℓ分を灯油券で配布するもので、204万8,000円の予算を追加しました。

可決された意見書

- 産地づくり交付金等の税制特例による一時所得扱いの継続を求める意見書
- 沖縄戦「集団自決」に関する教科書検定に対する意見書
- 身近な地域で安心して出産ができる助産所の存続を求める意見書
- 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書
- 灯油等石油製品の価格を引き下げのための緊急対策を求める意見書
- 取り調べの可視化の実現を求める意見書
- 民法772条の嫡出推定に関する運用の見直しを求める意見書
- メディカルコントロール体制の充実を求める意見書
- 障害者自立支援法の見直しを求める意見書
- 米価暴落の緊急対策と品目横断対策の見直しを求める要望意見書
- 食品偽装事件の根絶を求める意見書
- 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書
- 後期高齢者医療制度の凍結と抜本的な見直しを求める意見書
- 被爆者に対して適正な援護の推進を求める意見書
- 「親林環境税(仮称)」の導入を求める意見書
- 「先住民族の権利に関する国際連合宣言」に関する意見書

議員協議会

名寄市中期財政計画などを協議

10月29日開く

風連地区市街地再開発事業などについて10月29日、議員協議会が行われ、活発な議論が交わされた。

この日の議員協議会に提出されたのは、風連地区市街地再開発事業の計画変更及び資金計画について、サンルダムの建設に関する基本計画変更に係る意見照会について、名寄市中期財政計画の見直し及び公的資金補償金免除繰上償還に係る健全化計画についての3件で、特に風連地区市街地再開発では共同住宅計画を削除したことなどに伴い、総事業費は約2億円減の24億4,000万円となる見込などが示された。

各議員からは、新築となる診療所の将来展望、地域交流センター建設に伴う風連福祉センターのあり方などについて活発な議論が交わされた。

いずれも名寄市の将来にかかわる課題であり、提出資料を参考に、今後さらに議論を深めなければならない。

平成18年度 決算審査特別委員会

原案通り認定し結審

10月30日～11月2日

平成18年決算審査特別委員会が9月3日に開会し佐藤勝委員長、岩木正文副委員長を選出、10月30日から11月2日までの4日間審査が行われた。審査の結果、名寄市一般会計は採決により原案の通り認定すべきものと決し、8特別会計、2公営企業会計については全会一致で認定すべきものとして決定した。

今回の審査は、合併後新しい名寄市の実質的な1年目の総括で多くの疑問・質問・提案があり、145項目にわたって熱心な議論が交わされた。特に、条例の定めがない中での公益法人等への職員派遣に関し、派遣条例を定め法的根拠を持った人事管理にあたるべきとの鋭い指摘があり、市側の早々の対応が求められた。また、市立病院に関しICU病棟の増改築に伴う医師・看護師の確保、勤務体制の適正化、土別市を含め広域化連携・センター病院としての位置付けなど、市民のみならず道北地域の安心安全を



新年のご挨拶

名寄市議会議長

小野寺 一 知

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

平成18年3月27日、風連町と合併をし新名寄市として歩みをはじめ3年目を迎えます。

新市総合計画に基づき、それぞれ地域の個性や特性を生かしたまちづくりが進められることとなります。また、地方分権の時代、地方自治体独自の自主性や主体性が強く求められており、議会といたしましても行政と連携を図りながら本市の発展と市民生活の充実を図るため、誠心誠意尽力してまいる決意であります。

最後に、市民皆様のご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

担う要としての機能強化に多くの質疑が集まった。基幹産業である農業に関しては、防衛施設周辺整備事業をはじめ、中山間地支払制度の成果など持続可能な地域農業の安定・確立に向けての議論が交わされた。除雪サービス体制の強化、乳幼児・妊産婦検診支援の増枠について前向きな議論が交わされ、大学についても食堂・売店など環境整備について早期の対応を強く求めていた。

委員会審査が「市民みんなで創る心豊かな北のまち・名寄」に寄与することを願い結審した。

迎 春

川村幸栄	日本共産党	高橋伸典	公明党	渡辺正尚	まちづくり	田谷中之之	清風クラブ	大田石健	山中口祐好	緑風クラブ	日根野正敏	佐藤野勝	木戸口村	川村正彦	凜風会	熊谷吉正	佐藤中憲	竹中松見	植松正一	高見正一	市民連合	小野寺一	佐々木正	持田木	岩井津	黒井喜	駒井浩	宗津千	東片千	市政クラブ
------	-------	------	-----	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

一般質問



看護師確保対策を

市民連合 佐藤 靖 議員

20年度予算にかかわって

問 新年度予算の規模及び各課からの概算要求額。見込まれるハード、ソフト事業は。また、一元化が図られていない事業事業の対応は。

答 予算規模は一般会計歳入で176億円、対する歳出は186億円程度と、約10億円の差がある。ハード事業では「天文台整備」など、ソフトで「こんにちは赤ちゃん事業」などを予定している。一元化がされていない事務事業は42件で、20年度中に、今後2～3年で、それより時間をかけての3つに区分し整備する。

市立病院、市街地活性化について

問 市立病院の医療スタッフ確保、特に看護師確保については、就学援助の増額、早期離職防

止策、新卒看護師の交流会開催、年度途中での職員採用などにしっかり取り組むべきではないか。市街地活性化にもかかわるが浮上しているコープ札幌進出への対応は。さらに、地権者との協議は。

答 精神科医師確保については、引き続き努力している。看護師確保策は、提言事項を検討して不安を与えない医療体制に務める。コープ札幌が目指す建設地は、土地開発公社所管地であり、総合計画などとの整合性で判断する。地権者との協議はこれからとなる。



将来看護師不足が懸念される
名寄市立総合病院



生活弱者への福祉対策

公 明 高橋 伸典 議員

高齢者、障がい者の住宅対策

問 住生活基本計画の中では、住宅に求められる項目の一つに「高齢者等への配慮」が挙げられている。高齢者、障がい者の子育て世帯等の各種生活サービスへのアクセスのしやすさが居住環境へ求められる水準であり、それぞれが自立し、安心して暮らせる環境整備が必要だ。

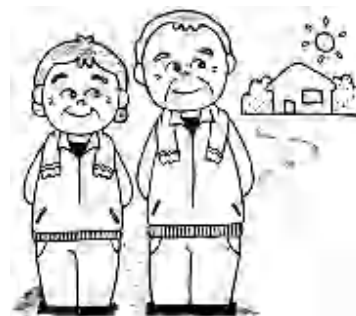
答 20年度から進める住宅マスタープランを基本に、現在52戸ある高齢者用シルバーハウジングの目標を100戸に設定。総合計画の中では、風連地区にあるケアハウスの増築も構想に盛り込まれている。知的障がい者や精神障がい者用は、総合計画で3棟12戸の建設を予定。さらに、民間と建築部門や福祉部門と連携を強化し、高

齢者、障がい者が安心して暮らせる住宅環境の整備充実に努める。

悪質滞納者の制限条例は

問 徴収率向上の対策とサービス制限条例は。

答 道内の20自治体で条例を設けており、約30種類の行政サービス措置がされている。本市でも一定の理解はしているが、ペナルティー前提では、納税や福祉サービス低下にもつながるため、条例制定の考えはない。個別訪問や分納、夜間窓口相談などきめ細かい対応としたい。なお、差し押さえ件数は、本年81件だった。



高齢者・障がい者に優しい
福祉施策を

一般質問



南2丁目踏切について

市政クラブ
宗片 浩子 議員

幅員拡幅を

問 南2丁目踏切は、1日で車2,000台以上が通過する重要路線である。幅員拡幅に対し、JRとの協議は。また、冬期間の安全対策は。

答 JR旅客、JR貨物の両者と幾度となく協議を重ねている。現在の踏切幅員は7mだが、17mまで広げることは可能。工事は、市がJRに委託する方式をとれば国庫補助もある。拡幅改良は、JRとの協議では線路4線のうち、ほとんど利用がない貨物の3線を外して工事する案が挙がっている。来年1月に市の照会に対するJR側の回答がある。当初、3～4億円とされていた工事費が下がれば、新名寄市総合計画の前期計画に位置づけたい。踏切内の除雪はJ

Rで行っているが、焼きピリ、砂、融雪剤の散布を含め幅員確保を要請し、確認している。

障害者福祉について

問 障害者福祉計画の見直しと、障害者自立支援法の特別対策の取り組み状況は。

答 障害者福祉計画は、本年度が最終年度。新たな10ヶ年計画を策定するに当たり、障害者手帳所有者全員にアンケート調査をした。これを基に、福祉サービス充実、健康関係の予防対策などに重点を置いた計画を年度内に策定する。他の質問・智恵文ひまわり畑の観光事業の継続



拡幅が待たれる南2丁目踏切



市民が主役のマチづくり

緑風クラブ
大石 健二 議員

自治区創設は市民合意を

問 地域自治区に対する捉え方が、市と市民の間に大きな隔りがある。「地域自治区設置の目的、必要性が理解しづらい」などの課題についても、理解を得るまでに至っていない。勇気あるアルピニストは、山頂の天候が思わしくなければ、登頂を見合わせる的確な判断が下せる。市民の理解を得られていない現段階では、性急な自治区スタートを見合わせるべき。

答 新年早々に開催を予定している町内会関係者との話し合いの結果をまって、判断したい。

中心街活性化への道のり

問 名寄市中心市街地活性化と、中活法基本計画策定に向けて、核となるべき民間協議会が、

さまざまな障害を前にして厳しい局面に立たされている。市として、この難局を打開できる起爆剤を持ち合わせているのか。

答 現在、水面下で商工会議所を中心に、市民や若手経営者らを中心とした活性化協議会準備会の発足に着手していく。

他の質問・新名寄市総合計画の構成と期間について・計画行政について・事務事業の評価について・名寄市自治基本条例の制定に向けて



名寄市の明日に期待をこめて
(あすなろの木)

一般質問



温暖化対策に向けて

市政クラブ
佐々木 寿 議員

環境保全と創造

問 温暖化により、自然環境が大きく変化しているが、身近なCO₂削減対象に市民への働きかけをすべき。また、環境条例の制定は。

答 省エネの観点からも家庭で出来る取り組み10項目を推奨し、協力を求めていく。また、光害対策についても新天文台が建設予定されていることから、天体観測等への障害とならないよう働きかけをしていく。環境条例制定については、期間的に4年程度、経費も4,000万円ほどかかることが見込まれる。また、担当職員も2~3名必要となり、厳しい現状であるが、来年洞爺湖で環境国際サミットが開催されることになっているので、この機会を捉えて市民への啓

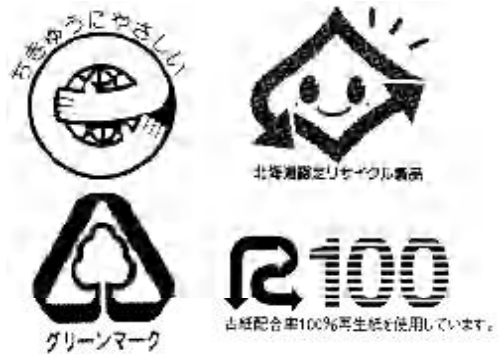
発、啓蒙運動に取り組む。

まちづくり推進策

問 市内循環バスで風連地区の経路を、将来完成する道の駅、駅前商店街、ポスフル等を経由するものに拡大すべきではないか。また、公用車を活用したコミュニティーバスの考えは。

答 バス路線の変更は、バス会社と協議が必要。また、国、道、市が運行補助をしているが、赤字となる路線の拡大許可は厳しい。しかし、市民の意向などを調査し、検討したい。

他の質問・まちづくり懇談会・広報について



環境に配慮した製品についているマーク



安心できるまちづくり

日本共産党
川村 幸栄 議員

後期高齢者医療制度

問 今年4月から値上げとなった国保税は、年金生活者には重たい負担となっているが、見直しの検討は。また、来年4月からスタートする後期高齢者医療制度についての周知方法は。

答 所得割に重心を置き、一部年金世帯に重税感をもたらしたが、是正に向けて作業を進めている。後期高齢者医療制度については、保険料も決定したので、今後は1月広報、ホームページに掲載する一方、出前講座方式で老人クラブ等へ積極的に向き、周知に努める。

新大型店と交通安全

問 ポスフル名寄店の建設が進み、工事車両が頻ぱんに出入りしている。学校も近いことか

ら、交通事故等が危惧されるが、市民の交通安全を守るための考えは。

答 店舗建設では、地域住民の生活、通学に影響がないよう強く申し入れたい。交通安全、事故防止について事業者の責務として、現地において万全な対策を講じるよう要望している。利用者にも、安全運転に協力を求めながら、関係機関とも連携を図り事故防止に努めたい。

他の質問・住宅リフォーム助成制度について・風連地区からの通院手段について・全国学カテストについて・福祉灯油について



交通量が増えている国道40号17線の交差点

一般質問



小中学校の施設整備は

緑風クラブ

中野 秀敏 議員

東小、風連中の整備は

問 建築後40年を超過している東小屋内運動場、風連中校舎及び屋内運動場の施設整備に対する考えは。また、適正配置との関連は。

答 現在審議中の適正配置等検討委員会からの答申を受け、今後策定する予定の適正配置計画と連動し、同計画のより具現化を図る学校教育施設整備計画において、その整備に関する方針や方向性を示し、計画的な整備を進めていくことが基本。

風連高校の跡活用は

問 施設整備計画の基本方針を示す際には、平成21年度末で閉校となる風連高校の跡利用も併せて考えているのか。

答 風連高校の跡利用については、地元としても活用について検討しなければならないと考えており、早期改築が求められている風連中学校として活用することも選択肢の一つだ。保護者や関係者の方々の意見を伺い、本年度中に跡利用に関する方向性を見い出したいと考えている。

他の質問・農地流動化と農地集積について・農業生産法人の育成について・風連地区の住民自治組織移行に伴う行政班、公民分館、コミセンの考え方について



建築後47年が経過した名寄東小学校体育館



新たな時代を

凜風会

木戸口 真 議員

ふれあいプラザ処分について

問 風連地区「ふれあいプラザ」の処分に関する経過と、公示期間が短い上に、公示価格方式とした訳は。希望者はいるのか。

答 ふれあいプラザが市街地再開発地区に隣接していることに加え、中心市街地の活性化を一層促進するため、公募による売却を決めた。条件は、1年以内に事業展開ができ、事業計画書の提出も併せてできる人。また、プラザの灯を消さないためにも、競売ではなく一定の条件を付けた公募とした。すでに希望者もいるので選考委員会で公共性がより高い人に売却したい。

制度を活かして

問 市内小中学校の特認校の状況と支援体制は。

答 特認校制度は、住所を変更することなく、通学区域外から就学を認める制度。平成10年からはじまり、現状は小学校3校(中名寄小8名、智恵文小、東風連小) 中学校1校(智恵文中11名)となっている。平成20年度からは、新たに風連日進小中学校を指定した。小規模特認校は、少人数で地域を活かした活動教育、心身の健康増進や人間性を養うことができる。関連する支援では、交通費の補助があり、公共交通機関運賃の2分の1を支援している。

他の質問・風連地区街路灯について



公募による売却が予定されているふれあいプラザ

一般質問



安心信頼の構築を

凜風会 佐藤 勝 議員

調停問題再発防止策を

問 公営住宅ガス事業で解決金など2,900万円、なよる健康の森・クロスカントリーコースで弁護士費用など90万円と、両調停問題で貴重な財源が消えていく。組織として「報告、連絡、相談」の徹底、チェック体制強化など再発防止策の確立と市民への情報提供を約束せよ。

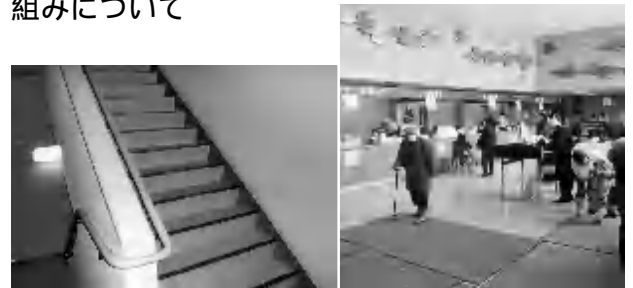
答 担当者の異動などで、事務引継ぎが円滑でなかったなど組織対応に問題があった。今後、職員が単独ではなく、上司、同僚ら複数で確認する体制を徹底したい。今議会終了後、研修会等を開催し、今回の問題を教訓化、周知徹底する。防止策については、市民に情報提供を約束する。

全てにやさしい病院を

問 市立病院の機能が、訪れる全ての人にやさしいものであってほしいと願うこと頼むこと。

階段上り右側にも手すりを 車椅子対応トイレの増設を 6人部屋を4人部屋に ICU増設で、運動療法室の朝陽が奪われることに心を砕いたか 職員（特に窓口）は訪れる人全てに笑顔を保っているか。

答 来年度改築時で 不可能 ICU 8床との関連で対応 新たなスペースを確保する。他の質問・環境マネジメントISO14001の取り組みについて



左、階段右側にも手すりがほしい
右、一日平均1,000人の患者が訪れる市立病院受付窓口



学校教育について

市政クラブ 岩木 正文 議員

小中学校の2学期制

問 2学期制は、学力向上に向けて授業時間を確保し、学校の特色を出すために有効と考えられる。取り組みに対する考え方は。

答 授業時数の確保や学習期間の連続性、長いスパンで評価できるなどのメリットはあるが、中学校についてはテスト期間の間隔が長くなることに加え、学校行事時間に制約を受けるなど保護者理解が重要。個人懇談会を設定して連携を図るとともに、学習指導要領改定の動向を見据え、メリット、デメリットを研究していく。

学校給食及び食育

問 残飯利用のフードリサイクルをとおして、食育推進の考え方は。

答 調理くずを市内の養豚場に持ち込んで処理していたが、栄養バランスや異物混入などで中止した経緯がある。現在、炭化センターで年間41万円程度をかけて処理している。高温バイオ生ゴミ処理で、年間300万円以上のコストがかかり導入は難しいが、環境教育にきわめて重要な問題であり、食育推進計画市民委員会に話題提供し、残飯処理を検討する。

他の質問・TVのデジタル化への対応・全国学力調査の結果を踏まえて・栄養教諭制度



フードリサイクルの取り組みを（学校給食センター）

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

愛媛県松山市・香川県さぬき市
大阪府高槻市・京都府亀岡市

委員会は、第3回定例会で付託を受けました名寄市総合計画推進市民委員会条例案審査のため、10月29日、11月21日の2回開催し、審査の結果、委員の委嘱を有識者と公募者に統一すること、委員にも委員会開催請求権を与えることなどをはじめ、市民に理解しやすい条文とする一部修正を行ない、その他の部分は原案通り可決すべきものと決し、本会議で報告した。



また、11月13日から16日までの日程で、愛媛県松山市、香川県さぬき市、大阪府高槻市、京都府亀岡市の行政視察を行なった。視察項目は、松山市市民活動推進条例、松山子ども育成条例、さぬき市まちづくり基本条例、さぬき市学校2学期制、高槻市市民参加に関する指針、高槻市学校園2学期制、亀岡市理数大好きモデル地域事情、亀岡市出前タウンミーティングなど12項目、52点であった。

それぞれの市では、視察項目の資料を参考にしながら、担当者から説明を受けるとともに、名寄市での反映を年頭にしたい意見交換を行った。各委員とも、今回の視察を貴重な機会と受け止めながら、積極的な質問が繰り返されるなど熱意あふれる視察となった。



さぬき市での研修風景

民生常任委員会

富良野市・芽室町・帯広市



帯広市「花びより」で説明を受ける

委員会は、10月17日から19日の3日間の日程で行政視察を行なった。

初日、富良野市では「環境基本条例制定までの経過と制定後の効果について」を研修し、ごみの資源化を目指し平成13年から14種分別を実施。18年度実績で一般廃棄物の年間搬入量の内、資源化率が91.9%に達しているとのこと。

18日午前中に公立芽室病院を訪れ、「赤ちゃんにやさしい病院BFH²の取り組みについて」説明を受けた。カンガルーケア(出産直後へその緒がついたまま母乳を探すしぐさ・授乳)を行なっており、昨年度産婦人科医師1人で362人の出産を扱ったと聞き驚いた。

午後からは帯広市を訪れ、市立病院跡地に建設された診療所とサービスと高齢者向け住宅の3つを兼ね備えた、民間の多機能ケア施設「花びより」について、説明を受けた。

19日には、帯広市の福祉車輛プロショップ「イフ」を訪問し、「車両に簡単な部品を装着することで、障がいのある方でも運転することができる」「バリアフリーとは、施設を平らにするだけではなく、その場で手を差延べることもバリアフリーです」との内藤さんの言葉が印象に残った。この視察を福祉政策に活かしたい。



福祉車輛の実際を体験

経済常任委員会

鹿追町・幕別町・帯広市



幕別町での研修風景

委員会は11月5日～7日の3日間、道内視察を行った。視察先と項目は、十勝近郊の鹿追町、幕別町の担い手事業と帯広市の中心市街地活性化などについてであった。

担い手事業では、両町とも担い手センターを核として、後継者の育成事業や花嫁対策、農業労働不足の確保対策などで成果を上げていた。名寄市でも担い手センターの必要性について、認識を新たにしました。

一方、帯広市の先進的な取り組みも研修し、今後の名寄市中心市街地活性化計画に役立てたいと考える。



鹿追町の農業体験宿泊施設
「ピュアモルトクラブハウス」を見学

このほか、11月14日に風連庁舎で委員会を開催した。委員会に先立ち、名寄道の駅『もち米の里 なよろ』の工事状況や各圃場整備事業など4カ所も視察。平成19年度主要農産物の作柄の報告によると、全般的には干ばつの影響があったものの、やや良ということだった。

また、麦・大豆品質向上対策に関わる助成金の過大な交付金があり、157人を対象に返還の方向で進めるとした。

道の駅開設による国道40号の看板撤去及び移設など、19年度主要事業経過説明も受けた。

建設常任委員会

新潟県加茂市・新発田市
埼玉県八潮市

当委員会では、第3回定例会において負託された名寄市下水道条例の一部改正、名寄市個別排水処理施設条例の一部改正、名寄市水道事業給水条例の一部改正の3件について、4回にわたり、担当職員の出席と資料の提出を願い慎重に審査しました。それぞれの論議を踏まえ、合併に伴う名寄地区、風連地区の水道料金、下水道使用料を合わせた形での、格差を抑えた料金の統一ということと、市民や事業所などを対象としたきめ細かな説明を十分に行い、理解を得ていくことから全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。その他、風連地区市街地再開発、除排雪実施計画、住宅マスタープランの素案について説明を受けた。又、サンルダム事業の視察を行い北海道開発局より説明を受けた。



加茂市のアーケード風景

道外行政視察を11月12日から11月15日までの4日間で行った。視察先、新潟県加茂市では商店街近代化事業について、新潟県新発田市では新発田駅前土地区画整理事業について、埼玉県八潮市では50年、100年先を見据えた景観まちづくりについて、それぞれ3市の特色あるまちづくりを視察した。



加茂市で商店街近代化事業の説明を受ける

議会運営委員会

委員会は、11月28日を含め3回開き、第4回定例会の会期を11月30日から12月14日までの15日間と決めた。

第3回定例会で付託された条例の制定と3本の条例一部改正案について、総務文教、建設の

本格審議がスタート

9月の第3回定例会において、議会改革調査特別委員会が設置され、13人の委員により今後の議会のあり方などを調査、検討することになりました。委員会として、ただちに各会派、議員から検討課題の提言、提案を求め、これらをもとに今後の議会のあるべき方向を検討することにいたしました。多岐にわたる提案に対し、今後の協議の進め方を整理した結果、改善に時間を要しない部分から早急に進め、条例改正などが伴うものは充分議論を重ね結論を出すことにいたしました。

各委員の共通認識として、これまでの議会運営を総点検し、新たな方向を明確にするためには「議会基本条例」の制定の必要性。また、次期市議選から名寄・風連両地区を合せた統一選挙になることから、議員定数問題、報酬問題などについても重点的に議論することが確認されました。特に議会基本条例の制定については、

両常任委員長から、18年度決算については決算審査特別委員長から報告を受け、議案17件を審議することとした。また、追加議案で福祉灯油関連補正について、一般質問の冒頭、市長からの発言を認めたが、これは6名の質問に先駆けての答弁であった。ほか各常任委員会行政視察報告と意見書案16件を提案することとした。

先進地事例の調査・研究に加え、市民の皆さんの声を反映する取り組みが不可欠と認識いたしました。その他、常任委員会の活動のあり方や議会開催日時等々、開かれた議会のあり方を検討することにいたしております。

いずれにしても、本格的な議論は今後の委員会議論となりますが、今、地方議会のあり方が問われているという状況をしっかりと認識してより多くの市民の皆さんの期待に応える議会改革に、委員一同努力して参りますので、一層のご理解をお願いいたします。

議会改革調査特別委員会



高見勉委員長、田中好望副委員長ほか11人の委員による議会改革に向けての議論がスタートした

審議日程

11月30日(金)	14日(金)
開会	一般質問
委員会報告	追加議案の審議
行政報告	意見書の審議
議案の審議	委員の派遣報告
12月12日(水)	閉会
議会運営委員会	
一般質問	
議会運営委員会	
13日(木)	
一般質問	

用語解説

- 1 **VE** (Value Engineering 「価値工学」の略語)
目的物の機能を低下させずにコストを縮減する、又は同等のコストで機能を向上させるための技術をいう。
- 2 **BFH** (Baby Friendly Hospital 「赤ちゃんにやさしい病院」の略語)
ユニセフ(国連児童基金)/WHO(世界保健機関)は、母乳育児の保護、促進、そして支援するために、世界全ての国の産科施設に対して「母乳育児成功のための10力条」を長期にわたって遵守し、実践する産科施設を「赤ちゃんにやさしい病院」として認定している。(道内では4施設)

へこたれない



夢追って

風連町字瑞生 村山 恵美子

2人の子どもは成長し、進学で家を離れていった。子どもが巣立ち、喜ばしい反面、半端ではない寂しさに襲われた。「まいった。あとの人生、仕事しかないのだろうか」正直そんな気持ちだった。

そんな折、私はひよんなきっかけから文章を書くことに会う。家計簿も日記も3日と続かない私が、エッセイを書き始めた。性に合っているのかこれがなかなか面白い。そのうち無謀な夢を思いつく。「公募で賞をとりたい」書いて次々送ってみるもののボツばかりが続いた。「そのうちきつと」めげずに書くこと3年。夢は少しずつ現実となり、あの寂しさもどこへやら。今日も原稿用紙に向かう私がいる。



毎日が始まり

名寄市西1南6 ひがしざわ もりあき 東澤 壮晃

「私は、全道各市町村に取材に行きますが、80年続いている肉屋さんは、ほとんど聞いたことがありません。」あるメディアの方が話しておりました。

昭和3年から名寄で商いをしている私たちは来年で80年を迎えます。どうして80年続けられたのか？、それは時代が変わっても必要とくださるお客様がいるからです。そして、お客様が必要なものを、望む形で提供してきたからだとも思います。

ソフトやハードが変わっても、そういう東洋肉店で有り続けた80年。今後も日々努力を重ねながら、毎日進歩を続けながら、歩みを続けていきます。

議会日誌

- 9月20日・議会報特別委員会
- 21日・建設常任委員会
- 28日・建設常任委員会
- 10月9日・陸上自衛隊名寄駐屯地増強促進期成会(東京都)
 - ・奈良県河合町議会行政調査来名
- 15日・建設常任委員会
- 16日・東京都府中市議会行政調査来名
- 18日・北海道市議会議長会道北支部議長会(稚内市)
- 22日・各会派代表者会議
- 26日・全国市議会地方分権改革・道州制調査特別委員会(東京都)
- 29日・総務文教常任委員会
- 30日・決算審査特別委員会(11月2日まで)
- 11月8日・全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会
 - 9日・議会改革調査特別委員会
 - ・全国市議会議長会評議員会(東京都)
 - 13日・全国市議会議長会基地協議会理事会(東京都)
 - 14日・経済常任委員会

- 16日・建設常任委員会
- 19日・民生常任委員会
- 20日・議会改革調査特別委員会
- 21日・総務文教常任委員会
 - ・全国市議会議長会産業経済委員会(東京都)
- 26日・各会派代表者会議
- 28日・議会運営委員会
 - ・議会報特別委員会

編集後記

今年の漢字は「偽」と決定しました。身近な食品に次々と偽装が発覚した世相が、この一文字に表されたと思います。来年は「幸」という文字が黒々と書かれることを期待したいものです。

第4回定例会には14名の議員が登壇し、49項目にわたって理事者の考えをただしました。また、灯油高騰が市民生活を苦しめていることから、福祉灯油の補正予算が審議され、原案通り可決となりました。

この一年も議会だよりを愛読いただいたことに感謝し、明ける年の幸を祈念します。(寿)

